

The TOYAMA YMCA NEWS

2017/2月号

No. 210

■発行 公益財団法人 富山 YMCA

〒930-0046 富山市堤町通り 1-3-14

TEL:076 (425) 9001 FAX:(424)6937

■発行人 松田 誠一

■URL <http://www.ymcajapan.org/toyama/jp/>

■Email tutumi.kyoyu@toyamaymca.org

■第210号(通巻) 2017年2月10日発行

シリア難民キャンプにて



2011年のアラブの春以来、中東トルコの南東に位置するシリア・アラブ共和国は、複数の勢力が入り交じり、民主化運動は内戦と化し混迷を極めている。内戦の影響でシリアの人口の約半数の1000万人を超える人々が難民となり、そのうち約600万人は国外、約400万人はシリア国内で避難生活を余儀なくされている。戦争というものが一体どういうものなのかは、戦後平成生まれの私には容易には想像できなかった。しかし2016年12月、私はそれを体感することとなった。

富山ではシリア難民を救済するためのアクションが起きていた。富山ムスリムセンター代表のサリム・マゼン氏とNGOアジア子どもの夢代表の川淵映子氏が、中東トルコのシリア国境沿いにあるシリア難民キャンプを支援するために、実際に現地に渡航する計画を立てておられることを知った。私は一行と共に現地に行くことを心に決めていた。いつもはどこにでも連れて行ってくださる川淵代表も今回はやはり、若者が同行することに少し心配していたようにも感じた。彼女は30年前のベトナムで戦争がいかなるものなのかを経験されているからだ。私の中に湧き上がっていた活動家としての「使命感」と学生としての「探求心」は、不安よりも強かったと感じている。

トルコのイスタンブールを経由して、難民キャンプがあるハタイ県のレイハンル市に到着した。ここはシリアの都市アレッポから近いので、難民受け入れの玄関口になっている。難民の数は市の人口6万人を上回っているという。街に入ってさっそく市警察のお出迎えがあった。メンバー6人は全員スーツケースの中身とパスポートをチェックされた。街の雰囲気からは隣の国で「戦争が起こっている」というようなことは感じにくかったが、活動を始めるとすぐにそれを感じることができた。カメラを堂々と構えることができなかつたために、写真はほとんど撮ることができなかった。活動の休憩中にカフェで仲良くなった現地の学生と

連絡先を交換しようとする、マゼン氏は私に「あなたが連絡先を交換した人の知り合いにISのテロリストがいたらどうする？」と言った。知らない人とコミュニケーションを取ることは戦地ではとても危険なことだということだ。自分の周りを歩いている人の中にテロリストがいるかもしれないという感覚だった。

一番衝撃的だったのは難民キャンプで活動しているときだった。「募ペン」という活動で富山で集めた文房具を難民の子どもたちに渡しているとき、子どもたちは字が書けないことがわかった。ネパールやフィリピンでも文房具を渡した子どもたちには、彼らの「夢」をスケッチブックに書いてもらうのだが、シリア難民の子どもたちは自分の夢さえも書くことができないのだ。子どもたちは難民になってから約3年間教育を受けることができていない。教育を受けることができずに大人になってしまうと、働き先がないために戦争に協力せざるをえなくなってしまうのだという。平和にとって教育がいかに重要なものかを感じることができた。

12月6日の昼過ぎにイスタンブールを出発した。私たちが出発した数時間後、イスタンブールのベシクタシュという地区で自爆テロが発生した。そこは1日前に私たちが観光で立ち寄った場所だった。人間が起こすこの愚かな行為は、罪のない多くの人々の命を一瞬にして奪ってしまう。今回の活動では人類が同じ過ちを繰り返さないためにも、「世界中の子どもたちが教育を受けることができる環境」をつくる必要があると感じた。

ノーベル平和賞を受賞したパキスタンの活動家マララ・ユスフザイさんの言葉。「1人の子ども、1人の教師、1冊の本、1本のペン、それで世界は変えられます。」

石原 壮一郎

(学生 NGO STUDENT FORCE)

～・～・ 中・高生イングリッシュキャンプ ～・～・

全国YMCA中・高生メンバーが英語のアクティビティやスピーチ、プレゼンテーション能力を高めるために東山荘に集い、横浜や広島のYMCA講師の方々と国際リーダー達と共に、英語漬けの4日間を過ごしてきました。以下は参加者の感想文です。

■僕は静岡県御殿場市にある YMCA 国際青少年センター東山荘で中・高生イングリッシュキャンプに参加してきました。そこには全国各地から集まった素晴らしい仲間達や 15 人ほどのリーダー達に恵まれ、入ると早速、英語で質問されました。

席に座ると今回のキャンプで一番仲良くなれた友達が話しかけてきてくれて、話しているうちに緊張がほぐれてきて、13 時からオリエンテーションで自己紹介などをしました。また、即答トレーニングでは、全員で楽しくトレーニングできてよかったです。夜には、皆でEダンス体操や恋ダンスや「アップタウンフォック」を歌ったり踊ったりして楽しい時間を過ごしました。

二日目は、昼からグループプレゼンテーションの準備をしました。僕の班は商業の事についてプレゼンしました。三日目の午前中に行われたグループプレゼンでは、どの班もすごいプレゼンでびっくりしました。午後からは四日目に発表するための短いスピーチ

チを個々で作成しました。

僕は今までの 15 年間の中で YMCA の次に続けていた水泳の事について書き、「シンプルが一番」だと思い、自分の知っている単語を9割入れ、最初に終わり、皆よりも暗記できたのに、本番では自分の中で、一番短いスピーチだったし、忘れてばかりいて自分の中では一番ひどいスピーチだと思いました。

三日目の夜は最後のイングリッシュファンタイムで、リーダー達に関するクイズやまねきんチャレンジをして、とても楽しめてよかったです。最終日はリーダー達から礼状をもらい、解散しました。

僕は全ての活動を通して、自分の語彙力のなさに気付かされ、これからの学校やYMCAの学習に活かして有意義なものにしたいです。

姫川 洸太郎
 (駅前センター生徒、
 高校1年生)



カマキリコラム
NO.58

松田 誠一
 (富山 YMCA 総主事)

ヘチマ教

暴飲暴食が祟ってか、健康診断の結果、典型的メタボと告げられた。健診終了後、別室へ呼ばれ、3ヶ月間の努力目標を掲げるよう指導を受けた。専門的に大学で学び、専門学校では教員として健康運動の指導者育成に尽力してきた私の末路である。「わかっちゃいるけど・・・」と言い訳をしたら、自分で勝手にやりなさいと言わんばかりに指導は終わった。

体は神様からの借り物と言われる。実は神様は、毎年、体を構成する60兆個の細胞の総入れ替えを行なってくれている。フルモデルチェンジである。しかしながら、健康的な生活を心がけ精一杯努力しない限り、必ず体力の減退は進み、20歳の体力を100%として、以後1年に1%ずつ衰えていく。つまり50歳では、全盛期の70%、70歳では50%ということになる。サッカーの三浦カズも、日々老化との戦いと語っていた。レジェンドと言われるプロであっても苦しむのだから、私たちのような怠慢な者は、なおさらである。さらにメタボは論外であろう。

こんな私も、昔はやせ細った喘息に苦しむ虚弱な小学生であった。そんな私を見かねた祖母が、ある日私を怪しい霊媒者のところへ連れて行った。霊媒者は何やら呪文を唱えた後、一本のヘチマに文字を書いて新聞紙に包んで私に手渡した。そして「このヘチマと一緒に布団の中で寝て、一週間後引き潮の時に川に流しなさい」とのお告げを受けた。素直な私は毎日、怖々ヘチマと一緒に布団に入った。すると、その翌年、かけっこでは、いつも喘息でビリだった私が、突然、学校の代表リレー選手に選ばれることになった。それ以来、「ヘチマ教」の信者となった私は、スポーツが得意になっていた。それが、ささやかながら自信へとつながったように思う。しかし、今さらながら、ヘチマはメタボを治してくれない。

完璧な人はいないにしても、自分自身を肯定できるということは、素晴らしいことである。しかしながら、外見や能力など、フルモデルチェンジとまではいなくても、マイナーチェンジを期待しても望みはきりが無い。問題は、私たちが感謝の気持ちをもって神様から預かっているかけがえのない体を大切にしているかどうかである。黙っていても、食事をすれば胃腸は動いてくれるし、文句も言わずに肝臓はアルコールを分解しエネルギーを蓄えてくれる。不具合が生じれば、痛みとなって信号を送ってくれる。たとえ障がいがあっても、歳をとり不自由な体になっても神様から与えられた体は、必死で私たちの魂を守ってくれている。私たちは生かされていると感じざるを得ない。

少し体重を落とし、負担を減らしてあげようと思う。



チェンジエージェント（CA）を終えて

★★★

世界 YMCA 同盟が主催する 2015 年 4 月～2017 年 1 月の約 2 年間の任期を終えました。この研修で私は YMCA で活動していく上で大切なことを多く学ぶことができました。

- ① **Be the change**: 自らが「変化」となり、若者が抱える課題について世界的な視野で取り組む。
- ② **Communicate the vision**: YMCA がユースエンパワメントで果たす役割、正義を求めて社会の変革をもたらすためにもっと多くの若者が YMCA に集うべきであることを、YMCA のビジョンを共有する。
- ③ **Inspire Action**: YMCA の取り組みに周りの人々を巻き込む。

まず、振り返ってみると、①自らの「変化」はやはりクリスチャンとして生きることを決断したことです。YMCA の C の部分を考える時間が多かったこの 2 年間。YMCA が活動していく基盤となる部分を探求することができました。

また、この 2 年の間に 2 回、世界中の約 150 人の CA がピースポートやタイに集合し、社会課題の発見や変革のために必要な方法を学びました。例えば、リーダーシップ育成、中長期計画の作成、資金集め、ファシリテーターなどです。YMCA がユースエンパワメントの団体であること意識づけられました。世界 YMCA 同盟が期待した CA に少しでも近づけるようこれからも努力し続けていきたいです。

YMCAほっとNEWS

宮口 侑紀

(富山YMCA職員)



わいわい萩っ子

瀬川 祥子

(1歳児担当)



節分

2月3日節分に向けて、子ども達は新聞ボールを作り、鬼退治の練習。当日は豆まきに向けて気合十分な子は数人。「鬼」という言葉を聞いて心配そうな顔になる子も多く、「鬼来るん?」「こわいねー」という言葉が飛び交っていましたが、鬼のお面をつけると、少し緊張が和らぎ、勇気が出てきた様子で、「かっこいいね」「怖くないよ!」と意欲的な声が聞こえてきました。

部屋に赤鬼と青鬼が現れると、一目散に保育士の背中後ろへ隠れたり、しがみついたり、机の下に潜り込んだり、自分の手で目を隠し伏せている姿も見られましたが、中には、保育士と一緒にボールを投げる元気な子もいました。

みんなの大きな泣き声で、鬼は慌てるように逃げていき、保育士に「もういない?」「おらんね」と言いながら、鬼が逃げていった事を確認しに何度もテラスを見に行くこねこ組でした。

怖い鬼さよなら～👏

萩浦保育園 2・3月の行事

2月16日(木) 親子茶会

23日(木) 入園説明会

3月3日(金) ひなまつり 誕生会

8日(水) おわかれ会

14日(火) ありがとうの集い

18日(土) 卒園式





富山YMCA 2016年度 スプリングプログラム 参加者募集中!

期間	場所	対象	費用(円)	定員(名)	
キャンプ名					
梶池高原わんぱくスキーキャンプ 3/27-29	白馬山麓梶池高原スキー場「民宿ひらた」	小学1年～中学3年生	42,000	30	
スクール名					
スプリングスクール in「フリーポート」 13:00～16:00	3/27- 4/3 土日除く	駅前センター6F「フリーポート」	小学1年～中学3年生	全日程 9,000 (単日1,800)	20
目指せ! 開脚とび&逆上がり 14:00～15:30	3/27- 30	堤町本館2F スタジオ	小学1年～6年生	10,000 (全4日間)	10

お知らせ「富山市防災講演会」

富山YMCAの松田総主事による講演会のお知らせです。以下のとおりの内容で行いますので、ご都合がよろしければご参加ください。

- 日時：2月17日(金) 13:30～15:30
- 所： 富山国際会議場(大手町)
- 演題：震災に学ぶボランティアのあり方
～富山型避難所運営の提案～
- 講師：松田 誠一(富山YMCA 総主事、
富山市災害ボランティアネットワーク会議会長)
- 参加費申込み：不要

第8回会員定例会のお知らせ 「子どもからのSOS」 ～今、大人に求められていること～

日常生活のなかで子どもたちは、いろいろなかたちでSOSを発しています。私たち大人は日々の生活に追われ、その信号を見逃してはいませんか？そして子どもたちのSOSに気付いた大人ができることはなんなのでしょうか？

今回は、「子どもへの暴力防止プログラム」(CAP)を実践しておられる岸順子さんをお招きして、子どもたちへの共感とエンパワメント(内なる力を引き出す)の重要性や子どもとの関わりにおいて人権意識の大切さについて話していただきます。多くの方のご出席をお待ちしております。

- とき：2月27日(月) PM7:00～9:00
- ところ：堤町本館1階 めくもりラウンジ
- 講師：岸 順子(富山CAP代表)
- 参加費：500円(コーヒー&スイーツ付)

＜問合せ＞ 富山YMCA 堤町本館(担当：土肥、宮崎)



■2・3月活動のご案内■

語学

- ◆2/26(日) ACET(児童英検)テスト
- ◆2/14(火)、16(木)、18(土) 無料クラス体験
- ◆3/14(火)、15(水)、25(土) 無料クラス体験

ウエルネス

- ◆3/25(土) 無料クラス体験
- ◆3/10(金)～16(木) ワッペンテスト

サッカー教室

- ◆2/17(金)、3/10(金) サッカー無料体験

野外クラブ タータ&アドベンチャー

- ◆3/5(日)「思いっきり雪あそび」in 立山青少年自然の家
今年度最後の活動です。雪遊びを満喫しましょう！
詳細は担当者(中川)にお尋ねください。

Y's さくらカフェ

- ◆2月ランチ定食メニュー [700円] ※ランチは毎週火曜日のみ
+100円で飲み物(コーヒー・紅茶・ハーブティ)がつけます。
- 14日(火) ドライカレー・とうふサラダ・焼きリンゴ・スープ
- 21日(火) 鶏つくね・大根と揚げ麩のみそ煮・かぶのクリームスープ
- 28日(火) 豚肉の龍田揚げ・スパゲティサラダ・じゃがいものガレット・味噌汁
- ◆イングリッシュカフェ(木) 14:20～15:20 一般1500円、会員1200円
要予約：076-431-5588(駅前センター受付)



ふ・ふ・ふ フリースクール

NO.15

雪が降った。階段にも雪が積もった。次の日の予想最低気温は、氷点下。(エレベーターは1台しかないので階段を使う人は多い。)滑って危ない。そんな時、救世主が現れた。「雪かきしますよ」。だが、スコップは無い。そこで、プラスチック製の塵取を渡してお願いした。あっという間に綺麗になった。これで安心。感謝感謝。後には、割れた塵取がガムテープで張られていた。(小田)